

世界報道写真展

2003

WORLD PRESS PHOTO 

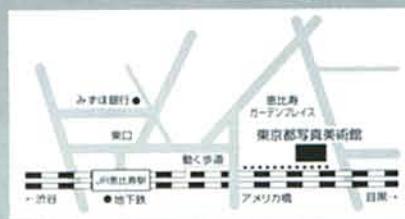


「スポーツニュース」部門
ジョルジュ・ゴベ(フランス)
9月から10月のコートジボワール、反乱軍が繰返し政権が悪化した



2003年
6月19日(木) - 7月21日(月・祝)
月曜休館(ただし最終日は開館) 10:00~18:00(木・金は20:00まで)
入館は閉館時間の30分前まで

主催 朝日新聞社、世界報道写真財団
共催 東京都写真美術館
後援 オランダ大使館、社団法人日本写真協会、社団法人日本写真家協会
協賛 キヤノン株式会社、キヤノン販売株式会社、KLMオランダ航空、TPG
観覧料 一般 700円(560円) 学生 600円(480円)
中・高生 400円(320円) ()内は20名以上の団体料金
小学生以下とお体にお体にお体の方とその介護者(2名まで)は無料
65歳以上は第3水曜日は無料 (※観覧できるものは観覧できません)
お問い合わせ 朝日新聞社文化事業部「世界報道写真展」係 Tel 03-5540-7449



東京都写真美術館
2階展示室

東京都目黒区三田1-13-3 恵比寿ガーデンプレイス内
JR恵比寿駅東口より徒歩7分 Tel 03-3280-0099
http://www.syabi.com

WORLD PRESS PHOTO 

世界報道写真展 2003



「スポーツニュース」部門
加藤智久(日本)
中国・瀋陽の日本総領事館に駆け込む北朝鮮の一家



「スポーツ」部門
パラス・ガルディ(ハンガリー)
ハンガリーで開かれた体操の世界種目別選手権



「ポートレート」部門
プレント・スティルトン(南アフリカ共和国)
割礼の儀式に集まり瞑想する南アフリカのコーサ族の少年

「アート」部門
エマニエル・スコレッティ(イタリア)
カンヌ映画祭でカメラの前でポーズを取るシャロン・ストーン



【大賞】
エリック・グロリアン(米国)
イラン地震で死んだ父親のスポンを手にうずくまる少年



【子供大賞】
バトリック・アンドレ(米国)
カブールで配給の石炭を拾う少年



「科学とテクノロジー」部門
サラ・リー(米国)
手触りも見た目も人の顔にそっくりのシリコンマスク



「自然と環境」部門
マイケル・ニコラス(米国)
エチオピアにしか生息していないゲラダヒヒ

今年も地球上から紛争はなくなりませんでした。
中東で続く自爆テロ、チェチン人武装勢力によるロシアの劇場占拠、コートジボワールの内戦——。これらの緊迫した場面を鋭く切り取った写真が一堂に会するのが世界報道写真展です。日本にいては分からない世界の「現場」がここには広がっています。昨年一年間に起きた事件・事故や災害、さらに芸術やスポーツ、環境問題など森羅万象を写した200点を振り返ることで、今という時代を見つめ直すきっかけになれば、と願っています。